

	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)		
事業名	ユネスコ未来共創プラットフォーム事業			担当部局庁	国際統括官付		作成責任者	
事業開始年度	令和2年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	国際統括官付		国際戦略企画官 本村宏明	
会計区分	一般会計							
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	ユネスコ活動に関する法律(第4条)			関係する 計画、通知等	「ユネスコ活動の活性化について(建議)」(令和元年9月12日日本ユネスコ国内委員会建議) 「持続可能な開発のための教育(ESD)に関するグローバル・アクション・プログラム」(平成28年:持続可能な開発のための教育に関する関係省庁連絡会議制定)			
政策	13 豊かな国際社会の構築に資する国際交流・協力の推進			主要経費	その他の事項経費			
施策	13-2 国際協力の推進							
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20211224-mxt_kanseisk02-000019646_13-2.pdf							
事業の目的 (5行程度以内)	持続可能な開発目標(SDGs)の実現が、国際社会のみならず各地域の活性化の中でも喫緊の課題として共有される中で、我が国のユネスコ活動は、新たな局面を迎えている。「ユネスコ活動の活性化について」の建議を受け、ユネスコ活動に関心や実績を持つステークホルダーに加え、SDGsの実現に向けた取組を進める多様なステークホルダーの知見を得て、国内活動と国際協力における成果の往還に資するよう、国内のユネスコ活動拠点ネットワークの戦略的整備と先進的なユネスコ活動の海外展開を一体的に推進する体制を構築することを目的とする。							
現状・課題 (5行程度以内)	2019年10月にまとめられた「ユネスコ活動の活性化について(建議)」において、SDGsの実現に向けた取組を進める多様なステークホルダーとの連携を深める戦略的なプラットフォームの構築を通じて、世界や地域の課題解決に資するユネスコ活動を推進するとともに、地域の個性とユネスコ活動のメリットを生かした地方創生や多様な変化に対応できる人材の育成を図ることが求められている。また、ユネスコ活動を通じて国際の場で発信をし、海外の若者と議論できる人材を育成するため、ユース世代の活動促進のための取組を強化することが求められている。							
事業概要 (5行程度以内)	(1)「ユネスコ未来共創プラットフォーム」事務局により、SDGsの実現に向けて積極的に取り組む多様なステークホルダーと連携し、ユネスコ活動の更なる充実や、活動成果の国内外への戦略的発信、先進的なユネスコ活動の海外展開を一体的に推進するためのプラットフォームの構築・運営、(2)ユネスコスクール事務局として、「持続可能な社会の創り手」育成の拠点となるユネスコスクールの活性化を図るため、ユネスコスクール拠点の運営、(3)日本ジオパーク委員会の事務局として、ユネスコへの推薦に係る業務等、我が国におけるユネスコ世界ジオパーク拠点の運営、(4)日本国内のユネスコエコパークについて、国際的な動向を踏まえた管理運営及び国内ネットワークの推進。							
事業概要URL	https://www.mext.go.jp/unesco/015/index_00001.htm							
実施方法	直接実施、委託・請負							
補助率等	-							
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求	
	予算の 状況	当初予算(A)	112	92	88	87	95	
		補正予算(B)	-	-	-	-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-		
		予備費等(E)	-	-	-	-		
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	112	92	88	87	95		
	執行額(G)		93	78	87			
	執行率(%) =(G)/(F)		83%	85%	99%			
当初予算+補正予算に対する執行額の 割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		83%	85%	99%				
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)			
	(項)		国際交流・協力推進費		※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。 ※国際ネットワークの構築に必要な事業成果の共有及び海外発信の強化、再認定審査対象となる日本ジオパークの増加に伴う支援強化、国内ユネスコエコパーク実務者の能力向上に係る経費を増額			
		(目)	国際協力推進事業委託費	82		89		
		(目)	庁費	5		5		
		(目)	職員旅費	1		1		
		(目)	委員等旅費	1		1		
		(目)	諸謝金	0		0		
		(目)	その他	▲ 1		▲ 1		
	計(A)		87	95				

活動内容① (アクティビティ)		「ユネスコ未来共創プラットフォーム」事務局として、ユネスコ活動に取り組んでいる団体等と連携し、SDGsの実現に向けて積極的に取り組む多様なステークホルダーの参画を促しながら、特にユース世代を巻き込んだユネスコ活動の更なる充実や、活動成果の国内外への戦略的発信、先進的なユネスコ活動の海外展開、ポータルサイトの設置・運営等を行う。								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		多様なステークホルダーとの連携による ユネスコ活動成果の戦略的発信	プラットフォーム事務局が設置 するポータルサイトの年間更 新数	活動実績	回	-	200	37	-	-
				当初見込み	回	-	200	200	200	200
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	ポータルサイトを通じて、全国で展開されている多分野に渡るユネスコ活動の情報発信を行う。広く一般にも親しみやすい情報を高い頻度で更新することで、ポータルサイトのアクセス数の増加につながる。アクセス数が増加することは、各ステークホルダーが互いに情報を共有し、多分野にわたるユネスコ活動の横のつながりを生み出し、ネットワークの強化に裨益する。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6 年度	
		年間アクセス数を最終的に35,000に向上させる。	プラットフォーム事務局が設置 するポータルサイトの年間アクセス数	成果実績	PV	-	27,394	23,000	-	
				目標値	PV	1,000	30,000	30,000	32,000	
				達成度	%	-	91.3	76.7	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		ユネスコ未来共創プラットフォーム事業ポータルサイトアクセス数								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	ポータルサイトにおける情報共有やポータルサイトをきっかけに生まれた交流等により、多分野にわたるユネスコ活動のセクター間のネットワークがにつくられ、相乗効果が生み出される。これらの活動を本事業の成果として各年度の後期に実施するユネスコウィーク等において優良事例として発表し、幅広い参加者に共有されることで、多様なユネスコ活動ネットワークのさらなる強化に資する。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 10 年度	
		ユネスコ活動の複数セクターにまたがる共創の相乗効果を図る。	ユネスコウィーク等における、 複数セクターにまたがる共創の相乗効果が生まれている事例の発表数	成果実績	件	-	-	4	4	
				目標値	件	-	-	4	4	
				達成度	%	-	-	100	100	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		ユネスコウィーク等における、複数セクターにまたがる共創の相乗効果が生まれている事例の発表数								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		-								

活動内容② (アクティビティ)		ユネスコスクール事務局として、「持続可能な社会の創り手」育成の拠点となるユネスコスクールの活性化を図るため、加盟申請支援及び審査の実施、定期レビューの実施、活動支援、全国大会や地域大会の開催、ユネスコスクール支援大学間ネットワーク(ASPUnivNet)の支援等を行う。								
↓										
活動目標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		国内のユネスコ活動拠点のネットワーク強化	ユネスコスクール定期レビュー研修会の参加校数	活動実績	校	－	－	214	－	－
				当初見込み	校	－	－	218	220	220
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	ユネスコスクールレビュー研修会に参加した学校が、自身の活動を振り返るとともに、有識者による助言、加盟校間の優良事例の共有及びディスカッションにより、ユネスコスクール同士の交流や学び合いの重要性を認識する。その認識に基づき、全国のユネスコスクール教員や教育関係者が一堂に会するユネスコスクール全国大会及び全国大会に先立ち開催される地方大会に参加することで、多様なステークホルダー間のさらなる連携強化が図られる。								
成果目標及び成果実績 ②-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6 年度	
		国内のユネスコ活動拠点のネットワーク強化	ユネスコスクール全国大会及び地方大会の参加者数(オンライン視聴含む)	成果実績	回	3,264	3,236	2,401	－	
				目標値	回	2,600	2,700	2,700	2,700	
				達成度	%	125.5	119.9	88.9	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		ユネスコスクール全国大会及び地方大会の参加者数								
↓	成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	参加者のニーズに応じたユネスコスクール全国大会及び地方大会を開催することにより、各加盟校において現在の課題への対処方法や活動をさらに発展させるための具体的な取組が認識される。								
成果目標及び成果実績 ②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 10 年度	
		国内のユネスコ活動拠点のネットワーク強化	ユネスコスクール全国大会参加者へのアンケートにおいて大会全体の評価として「とてもよかった」「よかった」と回答した割合	成果実績	%	97	99	97	－	
				目標値	%	95	95	97	97	
				達成度	%	102.1	104.2	100	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		ユネスコスクール全国大会アンケート結果								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								
		－								

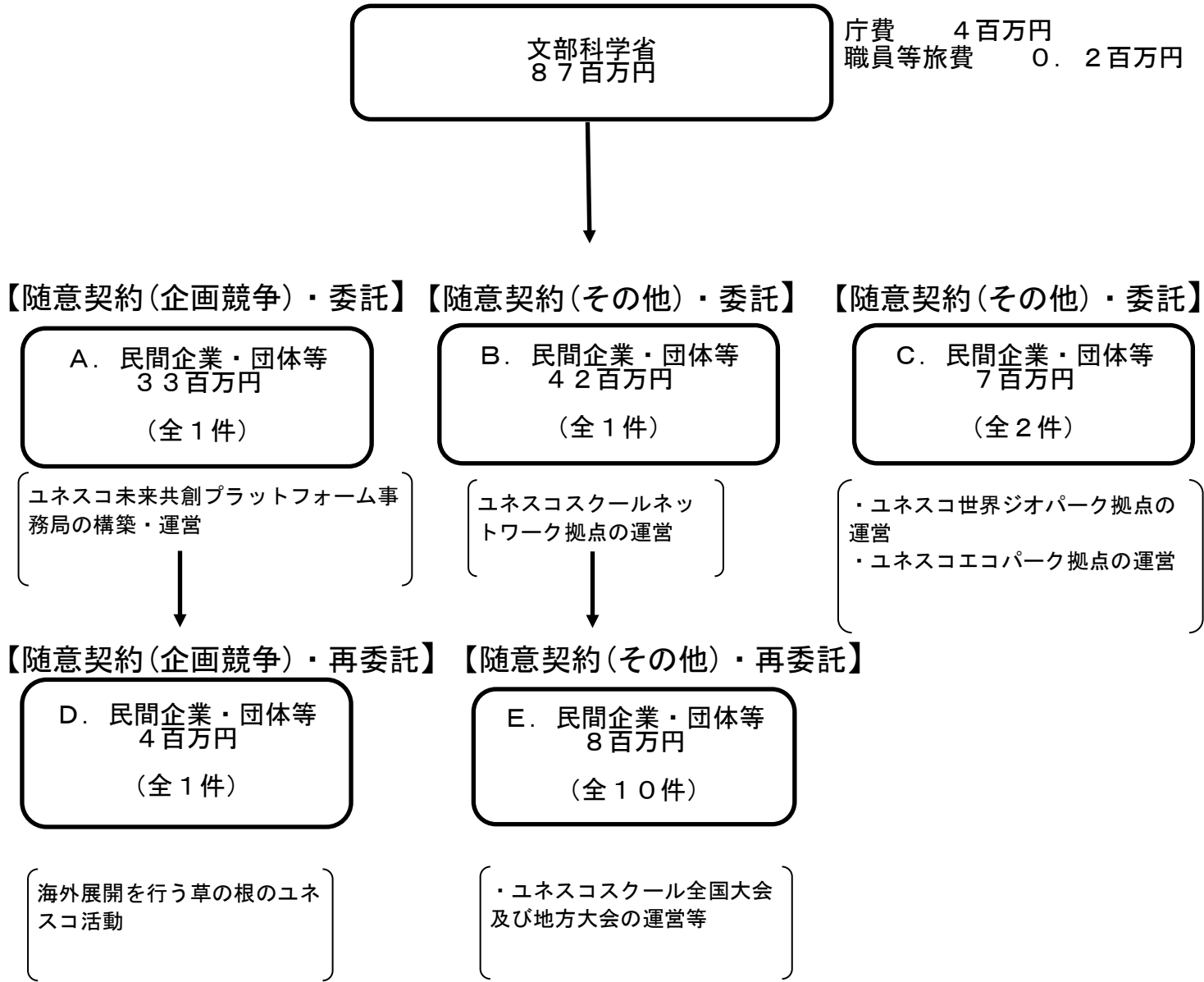
活動内容③ (アクティビティ)		日本ジオパーク委員会の事務局として、ユネスコへの推薦に係る業務、再認定審査に係る業務、選考基準策定、ユネスコとの連絡調整等を行うとともに、我が国におけるユネスコ世界ジオパーク活動を推進し情報発信を強化する。								
↓										
活動目標及び活動実績 ③ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		ユネスコ世界ジオパーク活動の推進	本事業によって実施される研修会の開催回数	活動実績	回	3	4	4	－	－
				当初見込み	回	4	4	4	4	4
↓	成果目標③-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	現在登録されているユネスコ世界ジオパークを対象に研修会を実施し、全ての登録地域が確実に専門的助言等を受けられる体制をつくる。								
成果目標及び成果実績 ③-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6 年度	
		全てのユネスコ世界ジオパーク登録地域に専門的助言が行われる。	専門的助言を行ったユネスコ世界ジオパーク登録地域の割合	成果実績	%	100	100	100	－	
				目標値	%	80	100	100	100	
				達成度	%	125	100	100	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		専門的助言が行われた登録地域								
↓	成果目標③-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	現在登録されているユネスコ世界ジオパークを対象に専門的助言等を実施することにより、ユネスコ世界ジオパーク登録地域の維持を図る。								
成果目標及び成果実績 ③-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 10 年度	
		再認定審査への専門的助言を行うことにより、登録地域数を維持する。	ユネスコ世界ジオパーク登録地域数	成果実績	件	9	9	9	－	
				目標値	件	9	9	9	10	
				達成度	%	100	100	100	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		ユネスコ世界ジオパーク登録地域数								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ③について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ③についてアウトカムが複数設定できない理由								
		－								

活動内容④ (アクティビティ)		我が国のユネスコエコパークについて、国際的な動向を踏まえた管理運営を推進することを目的とした実務者に向けた能力開発を実施する。								
↓										
活動目標及び活動実績 ④ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		ユネスコエコパークにおける実務者の管理運営能力の強化	本事業によって実施される研修会の開催回数	活動実績	回	5	4	8	－	－
				当初見込み	回	5	5	6	7	7
↓	成果目標④-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	現在登録されているユネスコエコパークを対象に研修会を実施し、全ての登録地域が確実に専門的助言等を受けられる体制をつくる。								
成果目標及び成果実績 ④-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6 年度	
		全てのユネスコエコパーク登録地域に専門的助言が行われる。	ワークショップに参加したユネスコエコパーク登録地域の割合	成果実績	%	100	100	90	－	
				目標値	%	80	100	100	100	
				達成度	%	125	100	90	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		ワークショップへの参加登録地域								
↓	成果目標④-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	現在登録されている日本のユネスコエコパークを対象にワークショップ等を実施することで、日本のユネスコエコパーク登録地域の維持を図る。								
成果目標及び成果実績 ④-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 10 年度	
		定期報告への専門的助言を行うことにより、登録件数を維持する。	日本のユネスコエコパークの登録件数	成果実績	件	10	10	10	－	
				目標値	件	10	10	10	10	
				達成度	%	100	100	100	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		日本のユネスコエコパークの登録件数								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ④について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ④についてアウトカムが複数設定できない理由								
		－								

[illegible]

※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位：百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金 額が支出されている者に ついて記載する。費目と 使途の双方で実情が分 かるように記載)	A.			B.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	職員人件費	15	人件費	職員人件費	22
	事業費	諸謝金、旅費、消耗品費、通信運搬費、会議費、借損料、雑役務費、消費税相当額	12	事業費	諸謝金、旅費、消耗品費、通信運搬費、会議費、借損料、雑役務費、消費税相当額	9
	再委託費	海外展開を行う草の根のユネスコ活動(独立行政法人国立文化財機構)	4	再委託費	ユネスコスクール全国大会及び地方大会の運営等(特定非営利活動法人日本持続発展教育推進フォーラム等)	9
	一般管理費	管理的経費等	2	一般管理費	管理的経費等	2
	計		33	計		42
	C.			D.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	職員人件費	3	事業費	諸謝金、旅費、通信運搬費、借損料、雑役務費	4
	事業費	諸謝金、旅費、消耗費、借損料、雑役務費、消費税相当額	2			
	一般管理費	管理的経費等	0.2			
	計		5.2	計		4
	E.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	職員人件費	1			
	事業費	諸謝金、旅費、消耗品費、通信運搬費、借損料、雑役務費、消費税相当額	4			
	一般管理費	管理的経費等	0.4			
	計		5.4	計		0
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載					チェック	

